

平成27年3月23日  
自然環境課 野生動物係 内線 2874

## 野生鳥獣肉の放射性物質検査結果について（平成26年度第12回）

県内で有害鳥獣捕獲等により捕獲した野生鳥獣肉の放射性物質の検査を実施した結果、基準値(100ベクレル/kg)を超えたものが確認されました。

なお、野生鳥獣肉（イノシシ、ニホンジカ、ツキノワグマ、ヤマドリ）は出荷制限となっており、一般には流通していません。

### 1 検査状況

(1) 検査日：平成27年3月23日（月）

(2) 検体数：16検体

（内訳：イノシシ：2、ニホンジカ：7、ツキノワグマ：7）

(3) 市町村：10市町村

### 2 検査結果

(1) 結果一覧

捕獲情報				検査結果（セシウム）ベクレル/kg		
捕獲場所	鳥獣種	捕獲年月日	雌雄	134	137	計
前橋市	ニホンジカ	H26.12.2	メス	17.8	67	85
前橋市	ニホンジカ	H27.1.10	メス	不検出	12.8	13
前橋市	ニホンジカ	H27.2.19	メス	不検出	10.7	11
安中市	ツキノワグマ	H26.9.2	オス	不検出	26.5	27
南牧村	ニホンジカ	H27.2.8	メス	不検出	不検出	不検出
南牧村	ツキノワグマ	H26.11.8	メス	不検出	36.0	36
甘楽町	ツキノワグマ	H26.11.13	オス	不検出	24.3	24
嬭恋村	ツキノワグマ	H26.9.6	メス	不検出	23.3	23
沼田市	ツキノワグマ	H26.9.3	オス	9.66	44.7	54
片品村	ニホンジカ	H26.11.17	メス	29.7	153	180
片品村	ニホンジカ	H26.12.4	オス	不検出	27.3	27
片品村	ニホンジカ	H27.1.8	メス	18.6	50.5	69
昭和村	ツキノワグマ	H26.9.25	オス	12.7	45.2	58
みなかみ町	ツキノワグマ	H26.9.5	オス	13.5	44.1	58
桐生市	イノシシ	H26.11.11	メス	10.7	45.5	56
桐生市	イノシシ	H26.12.9	オス	19.7	79.5	99

(注) 測定は農業技術センターで実施

測定機器はゲルマニウム半導体検出器を使用

不検出とは、測定機器の測定能力以下のものをいう。(10ベクレル/kg未満。ただし、測定能力は変動することがあり、10ベクレル/kg未満であっても検出されることがある。)

放射性セシウムの合計は、セシウム134とセシウム137を合算して有効数字2桁で記載  
(平成24年3月15日付け食安発0315第4号厚生労働省医薬食品局食品安全部長通知)

(2) 基準値を超えた検体数：1検体

(内訳：ニホンジカ：1)

(3) 平成26年度の検査結果（第11回まで）

鳥獣種	検査数	100Bq/kg超	出荷制限
イノシシ	34	10	H24.10.10～
ニホンジカ	61	23	H24.11.14～
ツキノワグマ	48	18	H24.9.10～
キジ	0	0	
ヤマドリ	0	0	H25.1.23～
カルガモ	0	0	
マガモ	0	0	
合計	143	51	—

(4) 平成25年度の検査結果

鳥獣種	検査数	100Bq/kg超	出荷制限
イノシシ	31	10	H24.10.10～
ニホンジカ	138	38	H24.11.14～
ツキノワグマ	45	25	H24.9.10～
キジ	0	0	
ヤマドリ	0	0	H25.1.23～
カルガモ	0	0	
マガモ	0	0	
合計	214	73	—

### 3 今後の対応

(1) 市町村等への周知

基準値を超えた市町村における該当鳥獣種の自家消費及び出荷について引き続き自粛していただくよう周知するとともに、その他の鳥獣種については、自家消費及び出荷について慎重に対応していただくよう周知します。

なお、ツキノワグマ、イノシシ、ニホンジカ及びヤマドリについては、これまでに実施した調査結果により原子力災害対策本部長から県内全市町村に出荷を差し控えるよう指示がありましたので要請済みです。

(2) 県による周知

県で実施した過去の検査結果も含めて、引き続き県HPに掲載して県民へ情報提供します。

(3) 検査計画

引き続き検査を継続します。